

誰もが「学びたい」をかなえられる学校 ～みえ夜間中学体験教室「まなみえ」を通して～

今回は、「まなみえ」津会場に参加している人から、参加しようと思ったきっかけや、学ぶ中で芽生えてきた思い、四葉ヶ咲中学校*への期待などを聞かせていただきました。皆さんは参加者の話をどのように感じますか。全ての人の学びが大事にされ、誰もが「学びたい」をかなえられる社会、「学びたい」と思える社会の実現に向けて考えてみませんか。

※四葉ヶ咲中学校について詳しくは、巻頭コラムでご紹介しています。



この場にいることが「好き」と思うようになりました

僕は小中学校に行ったことがありません。学齢期は過ぎていますが、義務教育を受けたいと思っていた時に、「まなみえ」のことや三重県に夜間中学ができることを聞きました。勉強することや、人と関わることは不安でしたが、「夜間中学で義務教育を受けたい」と思い、そのための練習として参加しました。

僕は、人と関わる時にはスイッチを入れて頑張っています。でも、スイッチが切れると人の顔を見ることがしんどく感じることもあります。それでも「まなみえ」に来てよかったと思えたのは、親身になって教えてくれる先生やスタッフ、それに仲間がいるからです。これまで会話するのは、年上の人ばかりで、お世話になる相手だけでした。でも、ここには年齢差があっても、同じ場所、同じステージに立って、僕と同じように学ぼうとしている仲間がいます。だから、この場にいることが「好き」と思うようになりました。

四葉ヶ咲中学校では、新しく出会う人たちとコミュニケーションがとれるか心配な気持ちもありますが、「まなみえ」の仲間やこれから出会う人たちと過ごすのも楽しそうだと思っています。



未熟なままの自分を許してくれるのが嬉しいです

私は、中学校に入ってすぐに不登校になり、それからの3年間はずっと学校に行っていません。その後、通信制高校に入りましたが、人との関わりもほとんどなく、勉強も分からないまま卒業しました。その後、大学に行くために受験勉強をしましたが、結局続けることはできませんでした。

高校を卒業している私だけ、学び直したいと思っていたときに、「まなみえ」のことを知り、自分が本当に行きたかったのはここだと思いました。

私は、今19歳です。成人年齢を超え、大人にならなければという焦りがありました。でも、ここでは未熟なままの自分を許してくれるのが嬉しいです。そして、スタッフの人たちの楽しそうな姿と出会い、大人になるのもそんなに悪くないかもしれないと思うようになりました。

「まなみえ」の授業で技術の時間があり、私は手先を使って物を作ることが好きだと改めて感じています。もともと学校が嫌で行かなくなった私だから、また嫌になってしまうかもと不安もあります。でも、来年度は四葉ヶ咲中学校で学びたいと思っています。

